

ご旅行条件

■旅行契約の解除  
参加者が最低実施人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の13日前迄にお知らせします。  
＜取消料＞  
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。  
＜解除時期・取消料＞ ※オプションツアーも同様です。

ゆいバス、豊見観光バス、  
おろくバス、那覇バス、  
琉球バス交通、北部観光バス

〒231-0062  
神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7HULICみなとみらい11F-4  
TEL : 045-212-2101 FAX : 045-212-2201



**日程表** 伊藤千尋さん 大熊啓さんと行く 歌と平和の沖縄本島・伊江島

| 日次                | 都 市                               | 交通機関       | 時刻                                      | 行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）                                                                                                                                                                       |
|-------------------|-----------------------------------|------------|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①<br>12/25<br>(日) | 東京・羽田空港発<br>沖縄・那覇空港着              | 航空機<br>専用車 | 午 前<br><br>午 後<br><br>18:30             | 羽田空港国内線ターミナル2階集合<br>(7:15～7:30予定)<br><br>空路、沖縄・那覇へ<br>●対馬丸記念館<br>●読谷村 チビチリガマ、「さとうきび畑」歌碑、<br>九条の碑、不戦宣言の碑広場<br>●大宜味村 九条の碑（大宜味村九条の会と交流）<br><br>夕食交流会（ホテル内）                                |
|                   | ホ テ ル 着                           |            |                                         | 名護市内泊 / × × 夕                                                                                                                                                                          |
| ②<br>12/26<br>(月) | ホ テ ル 発                           | 専用車        | 8:00<br><br>午 後<br><br>夕 刻<br><br>20:30 | ホテル発、本部港へ移動<br>フェリーで伊江島へ（所要30分）<br>＜伊江島内見学＞<br>●ニャティヤ洞 ●伊江島飛行場跡 ●団結道場<br>●湧出 ●芳魂之塔 ●公益質屋跡 ●城山<br>●わびあいの里（謝花悦子さんのお話）と反戦平和<br>資料館見学<br>再び、フェリーで沖縄本島へ<br>＊辺野古ビーチ<br>ホテル着後、夕食              |
|                   | 那覇市内ホテル着                          |            |                                         | 那覇市内泊 / 朝 昼 夕                                                                                                                                                                          |
| ③<br>12/27<br>(火) | ホ テ ル 発                           | 専用車        | 8:30<br><br>午 後<br><br>夕 刻              | ＜普天間基地周辺・南部戦跡見学＞<br>●嘉数高台（普天間基地・京都の塔・トーチカ）<br>●緑が丘保育園<br>●西原町 「月桃」歌碑、九条の碑<br>●南風原陸軍病院壕・九条の碑<br>●ひめゆりの塔とひめゆり平和祈念資料館（2021<br>年リニューアル）<br>「伊藤千尋さん・大熊啓さん歌のつどいin沖縄」<br>※夕食は参加者に軽食をお渡しいたします。 |
|                   | 琉球新報ホール<br><br>ホ テ ル 着            |            | 20:30～21:00                             | 那覇市内泊 / 朝 昼 弁                                                                                                                                                                          |
| ④<br>12/28<br>(水) | 那 覇 空 港 着<br>沖縄・那覇空港発<br>東京・羽田空港着 | 航空機        | 夕 刻                                     | 出発まで自由行動<br>＊希望者はオプションツアーへご案内します<br>（後日詳細を別途ご案内します）<br>那覇空港集合、航空会社チェックイン<br>空路、東京へ（空港到着19:00頃予定）                                                                                       |
|                   |                                   |            |                                         | 朝 昼 ×                                                                                                                                                                                  |

※コロナウイルス感染拡大等の影響により、訪問予定地が休館または団体見学不可になる可能性があります。その場合は、代替見学地へご案内いたします。※交通混雑状況により、到着時間が遅れる場合がございます。予めご了承ください。

子どもの空を守りたい  
#コドソラ

2017年12月、宜野湾市普天間基地のそばにある緑ヶ丘保育園に米軍ヘリ部品が落下する事故が発生しました。保護者らの有志で、同保育園のほか同市の普天間小学校、普天間第二小学校なども対象に、上空の米軍機飛行禁止を求めて運動を続けてきた「チーム緑が丘1207」は、2022年1月に新団体「#コドソラ」へ移行しました。団体名には「子ども空を守りたい」という思いが込められています。シンガーソングライターの大熊啓生は、その間いへの応援・連帯の思いを込め、「見上げた空から」を作詞作曲しました。

1、 見上げた空から  
空から降ってくるものは  
しとしとやさしい雨が  
わたあめだったらもうと  
うれし  
なかく分けよう みんなで  
きれいな空を 大きな空を  
静かな空を 見上げつづけた  
い

2、 空から降ってくるものは  
ほんのり冷たい雪がいい  
かまくら作ろうとびきり  
大きな  
きれいな空を 大きな空を  
静かな空を 見上げつづけた  
い

3、 空から降ってくるものは  
キラキラかがやき星がい  
んながれる星にねがいをは  
かける  
その夢かなえよう みんなで  
きれいな空を 大きな空を  
静かな空を 見上げつづけた  
い

## 旅のポイント・見学先

● 伊江島

～沖縄の縮図といわれる闘争の島～

伊江島は沖縄本島北部、本部半島の沖に浮かぶ島です。島の中央には「タッチー」と呼ばれる鋭い三角形のシルエットを持つ山（城山）がそびえ、本島からもその特徴的な姿は望めます。沖縄戦では有数の激戦地となりました。戦後は軍用地の接収率が最も高い島となり、その存在は島の人々の暮らしを大きく圧迫しています。かつて島民が学習し、戦う力を高めた「団結道場」や、土地闘争の中心人物だった故・阿波根昌鴻氏が設立した「やすらぎの家」と「わびあいの里」は訪れた人に土地闘争の軌跡を通じて伊江島と沖縄の現状を伝える貴重な場となっています。



● 「さとうきび畑」 歌碑 読谷村

「さとうきび畑」の作者・寺島尚彦氏は、沖縄のさとうきび畑の土の下に未だ埋もれたままの戦没者たちの魂に揺り動かされるように歌を書き上げました。この歌に込められた平和の祈りを沖縄から永遠に発信し続けるため、読谷村に「さとうきび歌碑」が建立されました。平和の願いを共有するすべての人々への思いを集結させてニライカナイ（沖縄の言葉で、魂の宿るところの意）の地から祈りを届けます。歌碑の建立に必要な経費は、草の根運動として、全国各地からの寄付、歌碑基金チャリティーコンサート等を通して2012年4月1日に完成しました。

● 嘉数高台

～普天間基地を見おろすかつての激戦地～

沖縄戦で激戦地となった嘉数高地には住民の犠牲を追悼する京都の塔があります。嘉数高台公園から見える普天間基地には米海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイが強制配備されました。2013年1月には、沖縄県内の41市町村全ての首長と議会議長、県議らがオスプレイの配備即時撤回、普天間基地の閉鎖・撤去を求める「建白書」を首相に提出しました。

## 同行者紹介

伊藤千尋さん・大熊啓さん  
「歌のつどいin沖縄」も同時開催！

伊藤千尋さん・大熊啓さんにご出演  
いただくトーク&歌イベント「歌のつ  
いたin沖縄」を3日目夕方に那覇市の  
琉球新報ホールで行います。伊藤千尋  
さんによる沖縄の「島唄」や「涙そうそ  
う」などの歌の解説、大熊啓さんによ  
るリクエスト形式でのミニコンサート  
など、盛りだくさんの内容となっております。  
詳しくはイベントのみのご参加も可能  
です。詳しくはイベントのご案内チラシ  
をご覧ください。

※ツアーで参加の方はお申し込み不要です。

伊藤 千尋さん（いとう・ちひろ ジャーナリスト）

1949年山口県生まれ。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジプシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年朝日新聞社に入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、パルセロナ支局長、ロサンゼルス支局長を歴任。これまでに世界82カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。週刊「うたごえ新聞」に連載し音楽、映画にも造詣が深い。現在はフリージャーナリスト、「九条の会」世話人。主著に『心の歌よ!』『連帯の時代』など。

大熊 啓さん（おおくま・あきら シンガーソングライター）

狛江生まれの狛江育ち。地元狛江を中心に合唱サークルの指導、うたごえ喫茶の伴奏、進行を務める。各地のうたごえや平和運動、労働争議の現場などで歌うなど、“人々と共にたたかうシンガー・ソング・ライター”。CDアルバム「子どもの大空」を音楽センターより発売中。コロナ禍でもうたごえを届けよう、オンラインによる「大熊啓とささやかに歌うつどい」などの配信を続けている。

## ●「憲法9条の碑」 大宜味村

沖縄本島北部、大宜味(おおぎみ)村の役場敷地内にある憲法9条の碑は、2017年に建立されました。碑は高さ約2メートルで、9条の1、2項全文が刻まれています。その上の「命(ぬち)どう宝(たから) 命こそ宝」という文字を、平和の象徴のハトが9羽で囲むデザインです。

建立に尽力した一人の平良啓子さんは、戦時中の1944年8月、沖縄から本土に向かう疎開船「対馬丸」に乗船していました。対馬丸には約1800人が乗船していましたが、米潜水艦に撃沈され、多くの犠牲者を出しました。こうした経験から、平良さんは「戦争は絶対に許されない」という信念のもと、「大宜味村憲法九条を守る会」の世話人代表も務めています。



● ひめゆり平和祈念資料館

～2021年4月にリニューアルオープン！  
「戦争からさらに遠くなった世代へ」～

ひめゆり平和祈念資料館は、1989年にひめゆり同窓会によって設立されました。以来、ひめゆり学徒隊生存者（証言員）が展示室で戦争体験を伝え、戦争の悲慘さ、命の尊さ、平和の大切さを伝え続けてきました。企画展・特別展やイベントなどの活動にとどまらず、ひめゆり学徒隊生存者の高齢化を見据え、次世代継承にも力を入れてきました。2021年4月にリニューアルオープンし、新たな展示では、戦争を知らない今の世代にも戦争体験が身近に伝わるよう、絵やイラスト、生き生きとした表情の写真が多く取り入れられています。

